

○2023年時点では、全国の18歳以上の居住者の2割強が関係人口であると言える。(全体で約2,263万人と推計。)

関係人口

約22%
(約2,263万人)

- ・移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人
- ・地域や地域の人々との深い関わりを実現する暮らし方である「二地域居住等」を行う人も含む

関係人口(訪問系)

約18% (約1,884万人)

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人(単なる帰省などの地縁・血縁的な訪問者を除く)

地域との結びつき度の深さ

強

弱

直接寄与型

約23%
(約437万人)



- ・地域の産業創出
- ・地域づくりのプロジェクト企画・運営・協力
- ・マルシェへの出店

就労型(現地就労)

約6%
(約105万人)



- ・地元企業での労働(地域における副業)
- ・農林水産業への就業やサポート

参加・交流型

約26%
(約485万人)



- ・地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

就労型(テレワーク)

約8%
(約145万人)



- ・訪問地域外での本業や副業を訪問先で行う(テレワーク)

趣味・消費型

約38%
(約711万人)



- ・地域での消費活動や趣味活動を楽しむ

関係人口(非訪問系)

約4% (約379万人)



地域を訪問せず、ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン交流等を継続的に行っている人

※関係人口の分類は、国土交通省「地域との関わりについてのアンケート」(2023年度)における調査上の分類
(出典)国土交通省「地域との関わりについてのアンケート」(2023年度)の調査結果をもとにした国土交通省国土政策局による推計値

(調査手法) ・全国18歳以上の男女約12万人を対象としてモニター調査を実施
・モニター調査により得られた結果を拡大推計